

環境部

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	環境部 (環境政策課)	2 優先順位	1
3 事項名	省エネルギー対策の推進について		
4 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に対応するため、<u>市有施設の省エネ改修や運用改善を計画的・効果的に進め、庁内の省エネ化を促進することにより、「市役所のエネルギー消費原単位を年平均1%以上低減する」という目標を達成する。</u> ・<u>地域の省エネ化のため地球温暖化防止活動推進センターを中心とする体制を整備するとともに、民生業務・家庭部門をターゲットにした事業を拡充する。</u> 		
5 現状及び課題	<p>省エネ法の中長期計画及び「浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)」に沿った省エネ対策を、<u>庁内横断的に実効性ある取組みとして推進するためには、体系的に整理して、担当の職員増や専門的知識を有する人員(エネルギー管理士)も必要である。</u></p>		
6 事業概要	<p>省エネルギー対策の推進について、各事業を体系的に整理して、スピーディーに実施する。</p> <p><庁内省エネ推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【ハード】「省エネ改修アクションプラン(=中長期計画)」の作成・実行 → 投資回収が5年以内の即効性のある省エネ改修に集中投資し、3年ごとに見直しすることで、<u>年当たり約3,300万円(平均で投資回収2.5年)の経費削減効果が見込まれる。</u> ・【ソフト】市有施設を対象とした省エネ指導及び省エネ対策マニュアルの作成技術面及び運用面での省エネ改善指導のための施設調査の実施、包括的な省エネ対策マニュアル(省エネ法に基づく「管理標準」)の作成(委託)、施設ごとのマニュアル作成時の指導・助言 <u>これらの取組により、年当たり約1,500万円の経費節減が見込まれる。</u> <p>ハード、ソフトの両面において「攻めのエネルギー管理」を行うため、<u>庁内のエネルギー管理を総括的に担当するグループを新設する。</u> (庁内省エネ推進グループ 担当職員増)</p> <p><地域省エネ推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市センターによる「省エネ市民ネットワーク」(節電!市民会議を改組)の運営 ・民生業務部門を対象にした省エネ診断の実施支援 		
7 関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法) ・地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) 		
8 想定されるスケジュール	<p>H25 4月~8月 「省エネ改修アクションプラン」作成(～H25.3委託準備)</p> <p>6月 「省エネ市民ネットワーク」の立ち上げ</p> <p>9月 H26 省エネ改修予算要求</p> <p>H25 年度内 包括的な省エネ対策マニュアルの作成⇒H26 年度から運用</p>		
9 他都市等の参考事例	横浜市(省エネルギー設備等導入計画)平成17年策定		
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	<input type="checkbox"/> なし(新規提案) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>平成24年度のスプリングレビューにおいて、「公共施設省エネ改修アクションプラン」の作成を、平成25年度新規事業として実施することを説明し、了承された。</p>	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項(該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業等の新規提案 <input type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>全体的な省エネルギー対策の推進について、体系的な整理を行ない、これに基づく庁内と地域、それぞれの取組を進めていきたい。</p> <p>【庁内の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプリングレビュー提案の具体化：投資回収5年以内の省エネ改 	

		<p>修に集中投資するアクションプランの作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト面の追加的取組：施設調査、省エネ指導及び省エネ対策マニュアルの作成。 <p>【市域への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで節電！市民会議」を、「省エネ市民ネットワーク」（市センターが運営）として改組し、通年の省エネ活動を推進。 ・家庭部門及び業務部門（事務所、店舗等）への省エネ診断の実施。
<p>12 サマーレビュー結果 （実施後記載。該当項目を□→■）</p>	<p><input type="checkbox"/>提案どおり進める</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ改修アクションプランの作成・実行を早急に行う。 ・職員増については、非常勤や委嘱など、手法を検討し現人員の中で対応する。

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	環境部 (資源廃棄物政策課)	2 優先順位	2
3 事項名	古紙回収保管庫貸与事業について		
4 目的	資源物集団回収を推進する取組として、市民の身近な場所に古紙(新聞、雑誌、段ボール等)、特に「雑がみ」の排出する場所を設け、燃えるごみの削減を図ることを目的とする。		
5 現状及び課題	古紙は、資源物集団回収を基本に回収しているが、実施回数が少ない地域もあり、家庭での保管場所の問題が生じている。また、燃えるごみに含まれる「雑がみ」の分別を推進するには、こまめに出しやすい環境を整備することが必要である。		
6 事業概要	希望する資源物集団回収団体に市から古紙回収保管庫を貸与する。 保管庫の管理・運営は団体が行い、回収した資源物(古紙)は、資源物集団回収として扱う。5年以上継続して取り組むことを要件とし、5年経過後に団体に譲渡する。		
7 関係法令等	なし		
8 想定されるスケジュール	H24.8月 全団体(自治会)に意向調査 H25 モデル実施(20団体)、検証 H26以降 希望団体(50団体)に順次実施		
9 他都市等の参考事例	北九州市…842台が使用され、多いところで年間120トンの古紙を回収		
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	<input type="checkbox"/> なし(新規提案)	具体的内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	スプリングレビュー2012の調査研究事業にて報告する。 ・市民が古紙を排出しやすいように、取り組むべき。	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項 (該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業等の新規提案	具体的内容	
	<input type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input type="checkbox"/> その他	古紙(特に、雑がみ)を回収する新たなシステムを構築する。	
12 サマーレビュー結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める	具体的内容	
	<input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直しして進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	・20団体に限定せず、意向調査の結果を踏まえ検討する。	

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	環境部 (資源廃棄物政策課)	2 優先順位	3
3 事項名	環境美化推進事業(環境美化推進協力金の統一)について		
4 目的	ごみ集積所の管理やごみの出し方指導、地域の美化活動等について、「環境美化推進員」が主体となって全地域で自治会と団体、市が協働により取組を推進することを目的とする。		
5 現状及び課題	<p>ごみの出し方が異なっていることから、各地域で異なる活動と支援(環境美化推進員への謝礼及び集積所管理協力金)が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区細江町 推進員謝礼 30,000円/人×66人 ・北区三ヶ日町 推進員謝礼 28,000円/人×30人 ・浜北区 推進員謝礼 20,000円/人×255人 +集積所管理協力金100円/世帯×30,000世帯+5,000円/町内会 ・旧浜松地域 集積所管理協力金 50円/世帯×240,000世帯 ・北区引佐町 集積所管理協力金 50円/世帯×4,600世帯 ・天竜地域 集積所管理協力金 200円/世帯×7,000世帯 <p>平成24年度予算額:25,135千円</p>		
6 事業概要	<p>全自治会に、地域での環境美化活動にかかる協力金を世帯数に応じて交付する。</p> <p>地域環境美化活動推進協力金 世帯数×80円/世帯 (100世帯以下の自治会は、世帯数×50円/世帯+3,000円)</p>		
7 関係法令等	なし		
8 想定されるスケジュール	<p>H24.8 自治会連合会環境部会(意見集約)</p> <p>8 自治会連合会理事会(意見集約)</p> <p>10 区協議会へ協議(北区、浜北区、天竜区)</p> <p>H25 制度統一</p>		
9 他都市等の参考事例	各政令市において各種の推進員の設置と取組あり		
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	<input checked="" type="checkbox"/> なし(新規提案) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p>	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項(該当項目を□→■)	<input type="checkbox"/> 事業等の新規提案 <input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>現在、合併前のまま継続して、それぞれの支援を行っているが、平成25年度から全市統一したごみの出し方になることから、支援を統一し、地域での環境美化活動を推進する。</p>	
12 サマーレビュー結果(実施後記載。該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直し進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>・協力金については、世帯数×80円/世帯で調整を進める。</p>	

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	環境部 (環境政策課)	2 優先順位	4
3 事項名	新エネルギー利用推進助成事業(住宅用太陽光発電システム設置費及び住宅用太陽熱利用システム設置費補助金、事業所用新エネルギー導入費補助金)について		
4 目的	「浜松市地球温暖化対策実行計画」の目標達成のため、新エネルギー及び省エネルギー機器の導入を推進して、本市のエネルギー自給率の向上を図る。		
5 現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電については、「住宅屋根に毎年10メガソーラー」をキャッチフレーズに導入を推進している。パネル価格の下落等の状況もあるが、<u>未だ初期投資額の負担感が大きく、国・県・市の補助金併用が出来ることで導入へのインセンティブが働いている。</u> 住宅用太陽熱利用については、平成24年度から新たに補助を開始したものであり、今年度の動向を把握した上で、今後の補助条件を検討する必要がある。 事業者用新エネルギー導入については、今年度の申請が全て太陽光発電設置で、全量買取制度を活用している。今後は、太陽光以外の新エネルギーや省エネ機器の導入を促進することが必要である。 		
6 事業概要	<p>【住宅用太陽光発電】 補助は継続(補助金額は減額、補助件数は増加)。</p> <p>【住宅用太陽熱利用】 平成24年度と同条件で継続。</p> <p>【事業者用新エネ・省エネ】 新エネ対象から太陽光は除外。LED等省エネ機器導入を促進するため、小口改修やリースを対象に追加。</p>		
7 関係法令等			
8 想定されるスケジュール	H25 4~6月 補助金の広報 7月~ 補助金の申請受付		
9 他都市等の参考事例	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電システム設置費補助金(政令市18市が実施、2市が未実施) 住宅用太陽熱利用システム設置費補助金(政令市13市が実施、7市が未実施) 事業者用新エネルギー導入費補助金(政令市6市が実施、14市が未実施) 		
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	<input type="checkbox"/> なし(新規提案) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>サマーレビュー2011において、新エネルギー導入の促進と省エネルギー対策として、住宅用(太陽光・太陽熱)及び中小企業用補助金について提案し、了承された。</p>	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項(該当項目を□→■)	<input type="checkbox"/> 事業等の新規提案 <input type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電補助金の減額及び補助件数の増加について 住宅用太陽熱補助金については継続 事業者用新エネルギー補助金の補助対象設備(太陽光発電の廃止、特定省エネ機器の追加)の変更とリース費用の追加について 	
12 サマーレビュー結果(実施後記載。該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直しを進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅用の補助金については、国や県などの動向を注視し、補助の件数と金額について検討する。 事業者用の省エネ関係の補助金については、再検討もしくは対象としない。 	